

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	一般小売店〔C D〕（営業担 当）	お客様の様子	・来客数が増え、まとめ買いする客も目につくようになっている。
		百貨店（統括）	お客様の様子	・5月は天候に左右されたが、気温が上昇するとアパレルを中心に前年の売上を超えるようになっている。高額品の特招会の動員及び受注額も増加している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・客が消費税総額表示に慣れてきている。税込価格を据え置いたチラシ展開、カード客へのポイント還元セールを実施し、来客数は増加している。
		コンビニ（経 営者）	それ以外	・前年度を数%上回る状況が続いている。客はコンビニに買回り品や必要品を求めているので、これらの商品を切らさないように気をつければ、やや良くなる。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・薄型テレビが好調で、ビジュアル関連商品の販売量が前年比で150%となっている。
		家電量販店（営 業統括）	来客数の動き	・インターネット通販でも、デジタルAV機器、デジタル一眼レフカメラ等の高単価商品の動きが順調で、客単価も上昇している。一方、新モデルのパソコンは動きが悪く、販売台数が伸び悩んでいる。
		その他専門店 〔眼鏡〕（店 員）	単価の動き	・4月に引き続き、売上が3%ほど増加している。ワンランク上の商品を選択する客が増え、購入単価が上昇している。
		高級レストラン （支配人）	来客数の動き	・団体客が増加するなど、4月に比べて1日当たりの人数が増加している。連休は営業を休んでいたにもかかわらず、月間の来客数は前月をやや上回る見込みである。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・食事中心の売上で、酒類の販売は少ないが、来客数が少しずつ増加している。
		スナック（経 営者）	お客様の様子	・6月のボーナスが多少良くなりそうである、残業が増加している、という話を客から聞いている。
		都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・婚礼物件の取り込み率が、前年より2割上昇している。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・来客数が増加しており、客単価も少しずつではあるが上昇している。
		旅行代理店（支 店長）	販売量の動き	・国内、海外旅行ともに、先行受注が順調に伸びている。
		通信会社（経 営者）	販売量の動き	・例年5月は、連休で金を使ってしまうのか、新規加入が落ち込むが、今年は落ち込まず、底固い需要がある。
		通信会社（営 業担当）	お客様の様子	・フルデジタルのサービスへの手ごたえは確かで、契約件数も確実に増加している。
		ゴルフ練習場 （従業員）	お客様の様子	・ゴルフコンペなどに参加する客が増加しており、コースの問い合わせや予約の電話も増えている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・住宅展示場の来客数に大きな変化はないが、販売量はやや上向いている。
		変わらない	商店街（代 表者）	お客様の様子
一般小売店〔家 電〕（経営者）	販売量の動き		・販売量が増加しておらず、前年実績に達するか微妙な状況にある。夏に向けたエアコン等の商品も伸びず、客から良い話も聞かない。	
一般小売店〔文 房具〕（経 営者）	販売量の動き		・減少した販売量が、一向に回復しない。補充のための購入ばかりである。	
百貨店（企画 担当）	来客数の動き		・春先以降、大型の販促を組んでいるにもかかわらず、来客数があまり増加していない。	
百貨店（広報 担当）	販売量の動き		・5月は前年同月に比べて土日祝日が各1日多い好条件にもかかわらず、売上は苦戦している。都心店は健闘しているが、郊外の店舗が厳しい。台風を含め降雨が多かったことで、主力の夏物衣料の動きが鈍い。前半は好調だった連休商戦も、後半は天候の影響もあり来客数、売上ともに急減速している。	

百貨店（営業担当）	来客数の動き	・商圏内での他業態ショッピングセンター等の新規出店で、消費の選択肢が拡大し、競合が激化している。また、雨や季節外れの台風の影響で、売上が伸び悩んでいる。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・お得意さま招待会などは好調だが、一般顧客の動向は芳しくない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・4月下旬、商圏内に大型ショッピングセンターが出店し、来客数が10%弱減少している。買上点数及び客単価にはさほど影響はないが、日替わり品の売価により客が動いている状況が見受けられる。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・依然として消費税総額表示の影響があり、単価が下がったままである。来客数は前年比で多少増加しているので、売上は変わらない。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・一品でも多く買ってもらい、客単価を上げるように、プラスワン運動を実施しているが、売上に結び付いていない。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数は増加しているが、割引商品、サービス品等単価の安い商品に客の目が向いている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・衣料品の単価が下がっている。チラシ掲載商品も単に安いだけではなく、ブランド物が何割引という強く訴えるものでないと、客は振り向いてくれない。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・全体的に衝動買いはみられない。ただしAV関連では、プラズマテレビや液晶テレビへ、VHSテープからDVDレコーダーへと、デジタル化が進んでいる。
家電量販店（営業部長）	販売量の動き	・今年は連休期間が長かった分、売上は上がったが、その後の反動も大きい。ボーナス待ちの下見が多い。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新型高級車の恩恵で、新車販売は予算達成率92.9%、前年同月比17.2%と伸長しているが、サービス売上は予算達成率90.8%と前年同月比-3.2%、同売上利益は前年同月比-10.0%となっており、単月黒字見込みの足を引っ張っている。
その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	来客数の動き	・4月が悪かったのは消費税総額表示の影響かと思っていたが、5月に入っても来客数は11%減と回復せず、低迷している。利幅が大きい医薬品の売行きが、例年に比べて悪い。
その他専門店 [キャラクターグッズ]（従業員）	来客数の動き	・外国人観光客を中心とした動きには改善の兆しがかがえるが、国内需要については昨年以下となっている。
その他専門店 [燃料]（売場主任）	お客様の様子	・ガソリンスタンド元売の仕切り価格が、年初から5月までに1リットル当たり5円上昇しているが、過当競争のため、大半のガソリンスタンドでは売値に転嫁できていない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでいる。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・婚礼については、近隣に競合する会場が進出し、予約がなかなか伸びない。一般法人の宴席の問い合わせは増加してはいるが、講演会、会議、社員向けセミナーや研修会などのみの問い合わせで、飲食を伴わず、売上が伸びない。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏休みの旅行について、単価の高い一部の客は以前の水準に近づいているが、全体のパイが増えているわけではない。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・例年であれば6、7月の法人需要が動き出すはずであるが、動きが止まっている。
タクシー運転手	来客数の動き	・客が乗り場に並ぶのは、雨の日と深夜に限られ、それ以外の時間帯では、客待ちが2時間ということもある。
タクシー（団体役員）	来客数の動き	・プライベートで仲間と団らんで酒を飲む人が少なく、特に歓楽街で人が減少している。
パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・当店及び競合店で、来客数に変化がない。台の入替えを行った時にはそれなりに増加するが、しばらく経てば来客数が減少する傾向も変化していない。
その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・客の消費に対する姿勢は引き続き慎重であり、本当にニーズに合った商品でなければ引き合いが弱い。人気のある定番商品がいつまでも支持されるわけではなく、継続的な工夫が必要になっている。

	その他サービス [語学学校] (総務担当)	販売量の動き	・来客数、販売量ともに変化がない。	
	設計事務所(経営者)	単価の動き	・受注は多少増えているものの、鉄骨、鉄筋等の建築資材や石油価格が上昇しており、受注しても商売にならない状況である。	
	設計事務所(所長)	お客様の様子	・建設業界では官公庁の仕事が減少し、過当競争が常態化している。たたき合いで予算を切り詰めているため、下請に跳ね返っており、業界全体に不況が浸透している。	
	設計事務所(所長)	お客様の様子	・計画相談は多少増加しているが、ほとんどが計画倒れで前に進まない。	
	住宅販売会社(経営者)	単価の動き	・請負価格や分譲価格をかなり低く抑えていても、更に値引きを交渉されることが多い傾向が、相変わらず続いている。	
	住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・建売分譲の販売価格に関係なく、契約件数が少ない。購入を決定するまで時間がかかる人が大多数で、この傾向はずっと変わっていない。	
やや悪くなっている	一般小売店 [靴・袋物] (従業員)	販売量の動き	・年金問題、消費税総額表示の問題等があり、客の買い控えが顕著である。季節イベント商品の需要はあるが、身の回りの商品については、客の購買意欲が低下している。	
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・今までは安い商品、良質な商品は多少動いていたが、5月に入りそれらの商品の動きも鈍化しており、販売量が非常に厳しい。	
	百貨店(営業企画担当)	単価の動き	・母の日需要の定番であったブラウス等衣料品の動きが悪く、また、気温が上がらず主力商材のTシャツが大幅に前年割れしており、前年比で95%台と、この3か月で最も伸び悩んでいる。	
	百貨店(営業企画担当)	来客数の動き	・このところ、来客数減の傾向が続いている。売場をリフレッシュオープンしても、その効果の持続が短くなってきている。	
	百貨店(業務担当)	来客数の動き	・割引などの際には多少上向くものの、前年に比べても来客数は相当減少している。また、単価も低下しているため、売上は非常に厳しい。	
	スーパー(店長)	来客数の動き	・4月の来客数は前年をクリアしたが、5月は95%と大きく落ち込んでいる。消費税総額表示の問題もあるが、連休後の買い控え、中旬からの天候不順と、マイナス要因が多すぎる。	
	コンビニ(経営者)	単価の動き	・朝もそうだが、特に夜の客の単価が上がらない。	
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・気候の問題が大きいですが、5月は来客数が減少している。売れ筋も日々ばらばらである。	
	一般レストラン(店長)	お客様の様子	・連休で金を使ったのか分からないが、客は節約しながら飲んでいる。現金でなくカードで支払う客も多く、財布の中身が寂しいようである。	
	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新規加入数に変化がないが、解約を含めた場合、販売量は大きく4月を下回っている。4月の転居時期であれば納得できるが、5月の数字としては悪い。	
	観光名所(職員)	来客数の動き	・連休が雨だったため、観光地である当所への来客数が大幅に減少している。	
		設計事務所(経営者)	それ以外	・当社は行政から設計を受託しているが、新年度になり、仕事はほとんどない。
悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・地域の商店街の会長会において、来客数、買上単価の低迷等の話が出ており、すべてがマイナス傾向にある。	
企業動向関連	良く なっている			
	やや良く なっている	金属製品製造業(経営者)	取引先の様子	・新規得意客も獲得でき、仕事の依頼が入るようになってきている。DVDや液晶関係、金型等、設備関係の仕事が増加している。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・設計が間に合わないくらいの受注が入っている。成約率も向上している。
		建設業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・民間の顧客が設備投資をし始めている。
	金融業(審査担当)	取引先の様子	・製造業の業績回復が顕著である。	

	経営コンサルタント	取引先の様子	・5月は、取引先の資金調達がうまくいっている。
	その他サービス [情報サービス] (従業員)	取引先の様子	・大手固定通信事業会社の買収等、通信業界の動きが活発化してきており、これを機に、社内情報通信システムの更改について、複数社からの見積を取って価格競争させようとする動きが出てきている。今年度、システム更改を計画しているものについて、前倒し提案の依頼が多くきている。
変わらない	食料品製造業 (経営者)	取引先の様子	・同業者が、低額商品は売れるようになっているが、高額商品の売行きは悪く、この先、どうなるかはまだ分からないと話している。
	繊維工業 (経営者)	取引先の様子	・この3か月間、春夏物の生産、製造が好調である。
	出版・印刷・関連産業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注件数、売上ともに、3か月連続で前年同月の実績に達している。
	輸送用機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・近所の工場なども、以前よりも仕事が増加しており、表情も明るい。良い状況が続いている。
	建設業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・受注量もさることながら、工事案件そのものの数が相変わらず少ない。
	輸送業 (総務担当)	取引先の様子	・得意先の製品受注が予想以上に少ないため、当社の物流量も非常に少なく、車両の稼働率も悪い。例年、公共事業が動かない前半は貨物量が少ないが、今年は特に少なく、深刻な状況である。
	通信業 (営業企画担当)	それ以外	・客先の経費節減の流れが変わらず、設備投資に対する予算化も慎重である。
	金融業 (得意先担当)	受注量や販売量の動き	・個人の貯蓄高が徐々に増加しているが、個人消費は落ち込んでいるため、企業の小売業の売上が減少している。
やや悪くなっている	不動産業 (総務担当)	取引先の様子	・4月と同様、5月も引き続き入居の引き合いが止まっている。空室率の改善も進まず、景気が回復に向かっているという実感は全くない。
	その他製造業 [靴] (経営者)	取引先の様子	・値打ちのある、高品質な、それでいて安い商品でなければ売れない。
	輸送業 (財務・経理担当)	取引先の様子	・地場産業である鋳物関係の物流に従事しているが、仕事が3割ほど落ち込んでいる。
悪くなっている	不動産業 (経営者)	競争相手の様子	・家賃は依然として下落しており、1年ほど前に新築されたワンルームマンションでも5,000円程度低下している。
	プラスチック製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が激減している。
雇用 関連	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・売上が2月比で67%になり、4月に引き続き悪くなってきている。
	求人情報誌製作会社 (企画担当)	求人数の動き	・社員、アルバイト、パートともに求人数が増加し続けている。
	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・企業からの派遣の依頼数が増加している。正社員の代替採用ではなく、派遣社員を定例的な戦力と見なし利用するケースが多い。
	求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・中途の求人募集広告の出稿が増加している。新卒採用面では、企業間の採用競争が激しくなったためか、継続募集中の中堅企業が多い。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職申込件数が、前年同月比で28.6%減少している。月間有効求職者数も、4月までで19か月連続で前年同月を下回っている。
変わらない	民間職業紹介機関 (経営者)	採用者数の動き	・新しい組織をつくり、ビジネスを多様化するための経験者採用がみられる。
	学校 [専門学校] (教務担当)	採用者数の動き	・内定者数が順調に伸びている。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・営業日数が少なかったため、派遣依頼日数が減少している。長期派遣契約の終了件数は、減少している。
	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・正社員や派遣社員の交代要員といった細かい受注が多く、実質な求人数はあまり増えていないが、業績不振等の理由による契約終了はやや減少傾向にある。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数全体は増加傾向にあるが、製造業、卸・小売業、飲食業等の業種においては求人数が減少しており、業種間のばらつきがみられる。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・予算が制限されており、注文数が減少している。予算が折り合わなければ、他店へ乗り換えるという現象がみられる。
悪くなっている	-	-	-